



総合教育センターだより

Be Connected

平成22年3月16日(火)
第12号(通算第95号)
京都府総合教育センター
TEL 075-612-3266

平成22年度センター研修講座



「単位制履修制度」の充実

■履修単位

- (1) 単位制履修制度は、教職員がライフステージに応じた研修を計画的・継続的に受講できるように、それぞれの経験年数に応じて必要な単位を履修していくものです。
- (2) 教職生涯にわたる履修単位として、60単位を標準的なモデルとしています。
例えば、教諭の場合、初任者研修(25単位)、2～6年目研修(7単位)、7～12年目研修(5単位)、10年研修(10単位)、13年目以降(13単位)ということになります。



■研修講座のグレード化・シリーズ化

- (1) 教職員が個々の職能、役割、経験などに応じて研修を受講できるように、研修講座を「**基礎・基本**」、「**実践の推進**」、「**実践の発展**」の3段階にグレード化及びシリーズ化を図りました。

基礎・基本

- 初任者研修「小学校教科教育」講座
- 初任者研修「生徒指導・教育相談」
- 初任者研修「特別支援学校」

等

実践の推進

- 小学校「授業づくり」講座理科Ⅰ
- 教育相談「聴く」講座
- 特別支援教育コーディネーター養成シリーズⅠ(障害の理解)等

実践の発展

- 小学校「授業づくり〈発展〉」講座理科シリーズⅠ
- 教育相談「聴く・関わる〈発展〉」講座
- 特別支援教育「障害の理解と支援〈発展〉」講座

等

- (2) 初任者においては、該当の教科・領域等の初任者研修講座の代わりに、大学委託講座の専門研修講座(「実践の推進」)を受講することができます。(受講条件については別途連絡)
- (3) 特別支援学級等を初めて担当する教職員は、特別支援教育新任担当者講座(初任者研修と合同実施)を受講することができます。
- (4) 平成22年度にグレード化を図った研修講座は、以下のとおりです。

- 専門研修の教科では、小学校理科・図画工作科・体育科
- 専門研修の領域では、特別支援教育及び教育相談に関する講座



「出前講座」の充実

- 学校がより選択しやすいように、「講座出前・パッケージ型」の詳細な実施内容をセンターHP(ITEC)に掲載します。
- 「中学校教科教育講座国語科」「中学校学力充実『ことばの力等』講座」を新設します。
- 学校等の要望に応じ、年度当初に研修計画が立てられるよう、申込と決定通知の時期を早めました。(6月4日申込締切)

「京都の伝統・文化」講座の充実

- 京のひと・まちづくり講座の定員増。
平成22年度は、地域における伝統文化を取入れた講座(宇治茶と茶道の歴史)にします。
- 京の教育「みやび」講座の受講対象を管理職だけでなく教職員も加えました。
平成22年度は、伝統芸能(能)の分野です。
- 初任者・新規採用者研修に、「京の伝統文化体験」講座を新設します。

センターでは多くの研修講座を実施していますが、今回、その中から2つの研修講座の講義内容（講義の要旨、講師のコメント）をご紹介します。

子どものこころ講座シリーズⅢ「連携」

実施日：平成21年12月25日

講師：関西学院大学 准教授 山本健治



教育相談のポイント

- 📌 特定の教職員個人でなく、学校全体のレベルアップを！
- 📌 学校で相談機能を発揮させるには「連携」が重要！
(校内連携、保護者連携、スクールカウンセラー等連携、外部専門機関連携)

チームで動く

1 校内連携

- (1) **校内体制**を確立させ、それをきちんと機能させる。
- (2) 些細な問題にも気づき、それを共有できる**システム**を作っていく。
- (3) **支援チーム**を構成し、「見立て」と「方針」を探り、役割分担をして実際に動いていく。

◆教育相談担当者の役割は重要

- ①プロモーター（推進者）として
- ②カウンセラー（児童生徒や保護者の相談に応じる）として
- ③コンサルタント（教職員の相談に応じる）として
- ④コーディネーター（関係教職員や外部との連絡調整）として

◆養護教諭との連携も大事

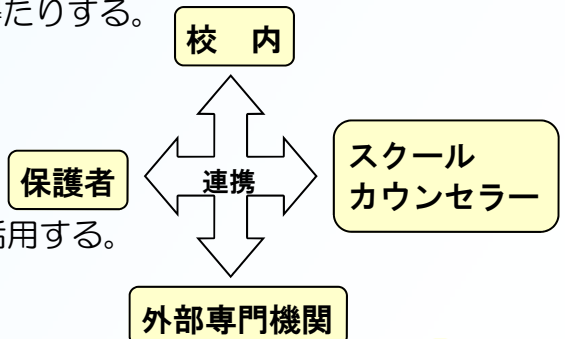
保健室は、様々な情報が集まりやすく、問題が発見されやすいところ。

2 保護者との連携

- (1) 児童生徒や保護者の個性、生活環境はそれぞれ異なる。違いを前提にした関係をつくる。
- (2) 率直に話し合える関係をつくる。教員が保護者の相談に応じたり、必要に応じてスクールカウンセラーを活用したり、地域の方々の協力を得たりする。

3 スクールカウンセラー等との連携

- (1) 学校への理解を深め、組織に位置付ける。
- (2) 定期的な連絡会などを通じて、状況を交流する。
- (3) 研修会の講師やコンサルテーション担当者として活用する。



4 外部専門機関との連携

- (1) 学校だけでは限界があり、対応が困難な場合は、外部専門機関と連携する。
- (2) 問題が起きてからでなく、日頃から連絡を取り合う。
- (3) 専門機関の一覧表を作成し、連携先の機能について知っておく。
- (4) 外部専門機関と連携するまでに十分指導や支援を行い、児童生徒や保護者と信頼関係を結んでおく。





校内研修推進講座シリーズII

実施日：平成22年1月25日

講師：大阪教育大学 教授 木原俊行



校内研修推進のポイント

- 🏠 年度当初に“課題意識”を持つこと！
- 🏠 課題克服のための「学校としてのビジョン」を明確にすること！

ビジョンを示す

1 校内研修の成功例

- (1) 1学期に研究的授業実践を行う。**早いスタート**を切る。
- (2) できるだけ多くの教員が研究授業等を実施し、その**成果を共有する**機会を設定する。
- (3) できるだけ多くの教員に、**研究推進上の役割**を果たしてもらう。
- (4) 研究発表会等に対する**外部評価**の機会を設定する。
- (5) 研究の成果と課題の「**作品化**」を図る。



- ◆ 「研究紀要」や「事例集」等を作成し、それを次年度に活用する。
- ◆ 「研究紀要」とは、学習指導案をホッチキスで留めたようなものではない。
- ◆ 「研究紀要」とは、やったことを自分なりに振り返り、次に何をしたいのか、またすべきなのかを考察し、記したものである。
(それによって、研究の継続・発展性が高まる)

2 授業研究

- (1) 授業研究に厚みを持たせ、その回数を確保するための仕組みが必要である。
- (2) 1回の授業研究において、代表だけでなく、**複数の教師が並行して研究授業**を実施する。
- (3) 事後の研究協議には、分科会と全体会の両方をするという**2部制**がスタンダードである。
分科会の単位を学年にしてもよい。
- (4) 夏休みには、**実践交流会**を催して、授業づくりのアイデアを交流するとよい。
- (5) 授業実践レポートを作成・配布して、それを間接的に推進する方法もある。
- (6) 学校の中のまとめりと同時に、**外とのつながり**も大事。京都府教育委員会や京都府総合教育センターの施策や事業との接点を見つけるのも1つのアプローチとなる。
(それによって実践研究の発展につながる)

3 まとめ

- (1) 7月の「シリーズI」を受け、**自校の新たな取組**を始められましたか？
今回の「シリーズII」を受け、**新たなチャレンジの気持ち**を持ってましたか？
- (2) 校内研修の進め方は、マニュアル化できない。他校と同じことをする必要はない。
それぞれの学校が**それぞれの方法**でステップアップしていけばよい。
- (3) 昨日よりは今日、それぞれの学校が**ステップアップ**するよう構想し実行してほしい。



まず、動き出すこと

出前講座の実施状況

213講座実施
延べ5612名受講

本年度の結果

- 出前講座を213件実施しました。
(講座出前型87件、講師派遣型126件)
- 学校をはじめ、各研究会、地教委、教育局で実施し、延べ5612名となり、全教職員の約60%が受講しました。
- 近年注目されている「ことばの力」、喫緊の課題克服に向けての「特別支援教育」「教育相談」、実践力向上のための「実技実習教科」、実態に即した「校内研修の活性化」などに関心が寄せられ、多くの依頼がありました。

| 講座の種類 | 内容 | 件数 | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 特別支援学校 | 研究会 地教委 教育局 |
|-----------------|----------------|-----|-----|-----|------|--------|-------------------|
| 講座出前型 (Aコース) | 小学校学力向上講座国語科 | 25 | 25 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小学校学力向上講座社会科 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 小学校学力向上講座算数科 | 7 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小学校理科教育講座 | 10 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小学校音楽科教育講座 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小学校図画工作教育講座 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小学校家庭科教育講座 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小学校体育科教育講座 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小学校における外国語活動 | 28 | 28 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 学校組織マネジメント基礎講座 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 情報教育講座 | 7 | 5 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| | 小計 | 87 | 82 | 2 | 1 | 0 | 2 |
| 講師派遣型 (Bコース) | 学力向上 | 31 | 23 | 6 | 0 | 0 | 2 |
| | 校内研修活性化 | 16 | 6 | 7 | 0 | 0 | 3 |
| | 実技実習教科 | 30 | 29 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 特別支援教育 | 21 | 3 | 5 | 2 | 4 | 7 |
| | 教育相談 | 27 | 12 | 5 | 1 | 0 | 9 |
| | その他 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 126 | 74 | 23 | 3 | 4 | 22 |
| 合計 | 213 | 156 | 25 | 4 | 4 | 24 | |

受講者の感想

- ◆ 本校の実態に即した少人数の校内研修ができ、教職員の様々な質問に答えていただき、活発なやりとりができました。
- ◆ 教育相談の出前講座を受講したことで、教育相談に関する校内研修と自己研修を深める大きなきっかけとなりました。
- ◆ 障害のある子どもに対しての基本的な考え方について、よく理解ができました。
また、発達の視点で子どもを捉え直すことの大切さも認識ができたと思います。
- ◆ 情報モラルの指導について、具体的な手順の紹介があり、根本的な解決に向けての講義は、本校にとって大変役立ちました。
- ◆ 実際の実技や実習を通し、実感を伴う理解ができ、明日からの実際の授業への活用に結びつきました。

- 出前講座の利点は、①学校を離れることなく、②全教職員が一緒になって、③自校の課題やニーズに応じた内容で、④活発な質疑応答をしながら、⑤研修を深められる絶好の機会になるということです。
- 平成22年度も、学校等のニーズに応じ、一層の内容充実に向けてまいりますので、是非、ご活用ください。

お知らせ

- ① 次号センターだより（4月号）は、特集号として、平成22年度研修講座の「講座紹介」を掲載します。「平成22年度研修講座の概要」（3月末学校に送付）と併せて、計画的な研修講座の受講にご活用ください。
- ② 平成22年度「出前講座」の申込締切は、6月4日（金）となっています。お早めにお申込みください。詳細は、「研修講座の概要」をご覧ください。

センターからの一言

教師には、3段階の“カン”がある。

第1段階：「感」（子どもの変化を感じること）

第2段階：「観」（変化の様子を観ること）

第3段階：「関」（最適な関わりをすること）

この繰り返しが、教師の目を開き、心を開くことになるのではないのでしょうか。

